

被ばく線量の分布等について

1. 被ばく線量

福島第一原子力発電所にて放射線業務に従事した作業者の過去3ヶ月の外部被ばく線量分布（各月別の全入域者数）を表1に示す。

表1

区分(mSv)	H26.11月			H26.12月			H27.1月		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20超え～50以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10超え～20以下	0	19	19	0	34	34	0	1	1
5超え～10以下	0	269	269	0	283	283	0	49	49
1超え～5以下	45	1644	1689	60	1912	1972	26	1464	1490
1以下	1141	8179	9320	1099	8234	9333	965	8146	9111
計	1186	10111	11297	1159	10463	11622	991	9660	10651
最大(mSv)	3.00	15.92	15.92	4.30	16.74	16.74	3.79	12.18	12.18
平均(mSv)	0.21	0.78	0.72	0.24	0.85	0.79	0.19	0.53	0.50

※A P D値の積算値の積算型線量計による月間線量値への置き換えや、積算型線量計のみの着用者（例：免震棟のみの作業員）の値の反映等により線量・人数が変動することがある。

2. 外部被ばく線量と内部被ばく線量の合算値

福島第一原子力発電所にて放射線業務に従事した作業者の12月末（H23.3.11～H26.12.31）と1月末（H23.3.11～H27.1.31）の累積線量分布の比較を表2に、12月末（H26.4～H26.12）と1月末（H26.4～H27.1）の累積線量分布を表3に示す。

表2

区分(mSv)	H23.3～H26.12月			H23.3～H27.1月			増減		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
250超え	6	0	6	6	0	6	0	0	0
200超え～250以下	1	2	3	1	2	3	0	0	0
150超え～200以下	26	2	28	26	2	28	0	0	0
100超え～150以下	117	20	137	117	20	137	0	0	0
75超え～100以下	290	175	465	290	175	465	0	0	0
50超え～75以下	328	1258	1586	330	1286	1616	2	28	30
20超え～50以下	617	5353	5970	616	5435	6051	-1	82	81
10超え～20以下	581	4954	5535	581	4984	5565	0	30	30
5超え～10以下	488	4672	5160	494	4718	5212	6	46	52
1超え～5以下	805	8738	9543	808	8870	9678	3	132	135
1以下	1134	11058	12192	1141	11268	12409	7	210	217
計	4393	36232	40625	4410	36760	41170	17	528	545
最大(mSv)	678.80	238.42	678.80	678.80	238.42	678.80	-	-	-
平均(mSv)	23.11	10.85	12.18	23.07	10.84	12.15	-	-	-

※A P D値の積算値の積算型線量計による月間線量値への置き換えや、積算型線量計のみの着用者（例：免震棟のみの作業員）の値の反映等により線量・人数が変動することがある。

※H23.10月以降、有意な内部取り込みは認められていない。

表 3

区分(mSv)	H26.4～H26.12月			H26.4～H27.1月			増減		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20超え～50以下	5	619	624	5	694	699	0	75	75
10超え～20以下	17	1662	1679	20	1783	1803	3	121	124
5超え～10以下	131	2342	2473	147	2463	2610	16	121	137
1超え～5以下	569	5011	5580	574	5125	5699	5	114	119
1以下	902	6991	7893	907	7223	8130	5	232	237
計	1624	16625	18249	1653	17288	18941	29	663	692
最大(mSv)	24.50	39.85	39.85	25.60	39.85	39.85	-	-	-
平均(mSv)	1.77	4.31	4.08	1.85	4.44	4.22	-	-	-

※APD値の積算値の積算型線量計による月間線量値への置き換えや、積算型線量計のみの着用者（例：免震棟のみの作業者）の値の反映等により線量・人数が変動することがある。

3. 特定高線量作業従事者の外部被ばく線量と内部被ばく線量の合算値

特定高線量作業従事者^{※1}の累積線量分布を表4に示す。

表 4

区分(mSv)	H26.11月	H26.12月	H27.1月	H23.3月～H27.1月
100超え	0	0	0	1
75超え～100以下	0	0	0	178
50超え～75以下	0	0	0	225
20超え～50以下	0	0	0	249
10超え～20以下	0	0	0	162
5超え～10以下	0	0	0	133
1超え～5以下	44	57	24	147
1以下	579	570	544	35
計	623	627	568	1130
最大(mSv)	3.00	4.30	3.79	102.69
平均(mSv)	0.31	0.35	0.24	36.75

（1月の特定高線量作業従事者は622名おり、その内54名については現場作業実績なし）

※1 特定高線量作業従事者

電離放射線障害防止規則第7条の緊急被ばく限度（100mSv）が適用されるとされている作業に従事する者。具体的には、発電所に属する原子炉施設並びに蒸気タービン及びその付属設備又はその周辺の区域であって、その線量が1時間につき0.1mSvを超えるおそれのある場所において、原子炉施設若しくは使用済燃料貯蔵槽を冷却する設備の機能を維持するための作業を行うとき又は原子炉施設の故障、破損等により多量の放射性物質の放出のおそれのある場合に、これを抑制若しくは防止するための機能を維持するための作業に従事する者を指す。

なお、これまでの特定高線量作業従事者については東電社員のみが対象者である。

※2 各月の特定高線量作業従事者は、当該月に特定高線量従事者として申請していた従事者人数である。

ただし、H23.3月～H27.1月の累計については、特定高線量作業従事者を解除した者も含む。

※3 APD値の積算値の積算型線量計による月間線量値への置き換えや、積算型線量計のみの着用者（例：免震棟のみの作業者）の値の反映等により線量・人数が変動することがある。

※4 H23.3月～H27.1月の累計の最大値（100超え）は、H25.7月に実施したH23.3月の内部被ばく線量を見直したことに伴うものである。